



平成 19 年度 総会議事次第

日 時：平成 19 年 8 月 30 日（木）15：15～16:30

場 所：北大工学部 A101 室

司 会：志村 和紀

代表理事挨拶

議題：事務局報告

- 1．平成 18 年度総会議事録
- 2．理事会報告
- 3．HITEST セミナー報告
- 4．委員会及び部会報告
- 5．その他

審議事項

- 1．平成 18 年度決算及び会計監査報告
- 2．平成 19 年度事業計画及び予算（案）
- 3．委員会、部会について
- 4．役員等費用弁償・業務委嘱規定（案）
- 5．その他

特別講演：小野 定 中央大学大学院兼任講師
C&R コンサルタント社長
題目「第三者機構の役割について」（仮）
総会終了後（16:30）同室開催予定

懇親会：特別講演終了後（17:30 予定） 工学部特別食堂にて

1 . 平成 18 年度 総会議事録

日 時：平成 18 年 8 月 23 日（水）15：00～16：20

場 所：北大工学部 A101 室

出席者

理事	佐伯 昇	長谷川 和義	三上 隆	鮎田 耕一	大沼 博志
	神谷 光彦	嵯峨 浩	佐藤 馨一	佐藤 浩一	清水 康行
	杉本 博之	松岡 健一	余湖 典昭	渡辺 義公	笠原 篤
	杉山 隆文				

（理事出席者 16 名 印：委任状出席）

監事	麻田 徹正	堀口 敬			
社員	小野 定	新山 惇	平川 幸三	水環境北海道	志村 和紀
	上原 泰正	服部 健作	花田 真吉		

（社員 26 名 印：委任状出席）

顧問	角田與史雄	能登 繁幸			
研究員	河村 巧	須藤 敦史	高橋 一浩		
	黒川 聖一	坂口 国夫	柳瀬ひろし	船谷 智浩	
	鈴木 洋一				

- 1 . 志村和紀社員の司会により総会が進行された。
- 2 . 社員数 33 名 出席者 26 名の過半数の出席があり、定款第 16 条によって社員総会が設立した。
- 3 . 代表理事より挨拶があった。
- 4 . 定款第 14 条により社員総会の議長は代表理事によって行われた。
- 5 . 事務局報告として
平成 17 年度設立総会議事録、1～5 回の理事会報告、1～8 回の HITEST セミナー報告、研修支援部会報告が行われ、了承された。
- 6 . 平成 17 年度決算及び会計監査報告、平成 18 年度事業計画及び予算が審議され承認された。
- 7 . 主たる事務所の住所変更、出資金の持分構成変更が審議され承認された。
- 8 . 定款第 19 条により理事の追加が行われ、大島 俊之、鈴木 輝之、杉山 隆文、加賀屋 誠一が認められた。
- 9 . 定款第 42 条により役員の改選が行われ承認された。
- 10 . 森吉 昭博理事から理事を辞退したい旨の連絡があり承認された。

2. 理事会報告

平成 18 年度 第 1 回理事会

日 時：平成 18 年 8 月 23 日（水）16：20～16:30

場 所：北大工学部 A101 室

出席者

佐伯 昇	長谷川 和義	三上 隆	鮎田 耕一	大沼 博志
神谷 光彦	嵯峨 浩	佐藤 馨一	佐藤 浩一	清水 康行
杉本 博之	松岡 健一	余湖 典昭	渡辺 義公	笠原 篤
杉山 隆文				

（出席者 16 名 印：委任状出席）

1. 定款第 20 条において代表理事を 佐伯 昇 に決定した。
2. 代表理事は専務理事に 長谷川 和義、三上 隆 を推薦し、承認された。
3. その他

総会終了後、特別講演：石川 一（株式会社ドーコン取締役）

題目「環境アセスメントに関する動向」が行われた。

講演終了後、工学部特別食堂にて懇親会が行われた。

平成 18 年度 第 2 回理事会

日 時：平成 19 年 3 月 28 日（水）15：30～17:30

場 所：北大工学部 A151 室

出席者 15 名（内委任状出席 8 名）定足数 12 名

佐伯 昇	長谷川 和義	鮎田 耕一	上田多門	大沼 博志
神谷 光彦	岸徳光	嵯峨 浩	佐藤 浩一	清水 康行
杉本 博之	松岡 健一	余湖 典昭	杉山 隆文	加賀谷誠一

（出席者 15 名 印：委任状出席）

審議事項

1. 耐候製鋼材橋梁計画マニュアルに関する第 3 者評価支援委員会（委員長：佐藤浩一）の報告書の評価を行い、委託者への提出を承認した。（2 周年記念セミナー資料参照）
2. 自動開閉樋門の開閉検証と技術基準に関する第 3 者評価支援委員会（委員長：長谷川和義）の報告書の評価を行い、委託者への提出を承認した。（2 周年記念セミナー資料参照）
3. 第 2 回記念セミナーを 6 月下旬に行うことが承認された。

その他 終了後、工学部特別食堂にて懇親会が行われた。

平成 18 年度 第 3 回理事会

日 時：平成 19 年 8 月 17 日（金）15：00～16:30

場 所：北大工学部 A151 室

出席者

佐伯 昇	長谷川 和義	三上 隆	鮎田 耕一	上田 多門
大沼 博志	笠原 篤	神谷 光彦	佐藤 浩一	清水 康行
杉本 博之	松岡 健一	渡辺 義公	杉山 隆文	加賀谷誠一

（出席者 15 名 印：委任状出席）

オブザーバー

麻田 徹正 監事

傍聴することを承認した傍聴者

佐々木真澄 木下 修

審議事項

1. 総会を 8 月 30 日に行うこと、総会の報告事項、審議事項が承認された。
2. 契約業務（委託者：北海道、期間：平成 19 年 5 月 31 日から平成 20 年 3 月 19 日）は前年後から引き続きの業務（美唄新川総合流域防災工事（11 号川地区）樋管設計検討業務）であり、これを受託し同一委員長、委員で構成することが事後承認された。
3. 合意形成システムに関する研究調査部会が事後承認され、報告書が提出された。
部会長：高野 伸栄
部会員：岸 邦彦
部会員：佐伯 昇
4. 社会的問題に対応できる技術支援部会の設立を検討する。
5. 坂口国夫氏から研究員を辞退したいとの申し入れがあり承認された。
6. 顧問は学識経験者として委嘱したものであり職場移動などによる影響は受けないとの説明があった。
7. その他

3 . HITEST セミナー報告

（1）第 8 回 HITEST セミナー（CPD 認定プログラム）

日時：平成 18 年 7 月 25 日 15：30～17：30

場所：北大工学部 A101

講師：山本 哲

日本橋梁建設協会 技術委員会

無塗装部会長

題目：耐候性鋼橋梁による LCC 縮減と現状について

参加人数 23 名 終了後懇親会を行う

(2) 第9回 HITEST セミナー (CPD 認定プログラム)

日時：平成18年10月19日 15:30~17:30

場所：北大工学部 A101

講師：清水 康行 北海道大学工学部 教授

題目：ハリケーンカトリナの洪水被害調査報告について

参加人数 21名 終了後懇親会を行う

(3) 第10回 HITEST セミナー (CPD 認定プログラム)

日時：平成19年1月11日 15:30~17:30

場所：北大工学部 A101

講師：高野 伸栄 北海道大学工学部 助教授

題目：公共事業の入札改革 談合問題

参加人数 36名 終了後懇親会を行う

(4) 第11回 HITEST セミナー (CPD 認定プログラム)

日時：平成19年3月9日 15:30~17:30

場所：北大工学部 A101

講師：伊藤 昌勝 北海道技術士センター会長、(株)ドーコン事務取締役

題目：改めて入札問題を考える

参加人数 24名 終了後懇親会を行う

(5) 2周年 記念セミナー

「土木事業における技術者の新たな役割」

土木学会認定継続教育（CPD）プログラム

日 時：平成 19 年 6 月 19 日（火）13:20～17:00

場 所：北海道大学 学術交流会館

札幌市北区北 8 条西 5 丁目 TEL 011-706-2141

主 催：HITEST

後 援：土木学会北海道支部，JCI 北海道支部，土木技術会コンクリート研究委員会
土木技術会鋼道路橋研究委員会

参加費：無料

申込先：下記の事務局へ 氏名 所属 連絡方法（TEL, E-mail 等）を記入の上
お申し込みください。なお 17:30 より北大構内（エンレイソウ）にて懇親会
（参加費 4000 円）を行います。こちらの出席も併せてご連絡ください（書式自由）。

連絡先：HITEST 事務局 〒060-8628 札幌市北区北 13 条西 8 丁目

北海道大学工学部 環境機能マテリアル工学研究室

志村和紀（TEL：011-706-6180 E-mail：shimura@eng.hokudai.ac.jp）

プログラム

		司会：伊藤昌勝
開 会 の 辞	佐伯 昇 HITEST 代表理事	13:20～13:30
基 調 挨 拶	第三者機構の役割	
	佐伯 浩 北海道大学総長	13:30～13:50
基 調 講 演	法律と常識 - ある土壌汚染事件に学ぶ -	
	中尾 巧 札幌高等検察庁 検事長	13:50～14:40
< 休 憩 >		14:40～14:50
		司会：杉山隆文
報告講演 - 1	北海道における耐候性鋼材橋梁計画マニュアルについて	14:50～15:50
	京田隆一 北海道建設部 主査	
	佐藤浩一 耐候性鋼材橋梁計画マニュアル評価 支援委員会委員長	
報告講演 - 2	北海道における自動開閉樋門導入の必要性と自動開閉技術 検討に関する HITEST 委員会の取り組み	15:50～16:50
	木原俊哉 北海道建設部 主査	
	長谷川和義 自動開閉樋門評価支援委員会委員長	
閉 会 の 辞	新山 惇 HITEST 社員 北海道建設業信用保証(株) 社長	16:50～17:00

参加人数 136 名 終了後エンレイソウにて懇親会を行う

4. 委員会および部会報告

(1)「コンクリート製品に関する社会的ニーズ、開発技術及び技術者倫理についての研修」を支援する部会(委託者:共和コンクリート工業株式会社 期間:平成18年度1月1日から平成18年12月末日)は佐伯 昇 3回の研修支援業務、杉山隆文、名和豊春 各1回計5回の研修支援業務を行い、平成19年4月20日に終了した。

(2)耐候性鋼材橋梁計画マニュアルに関する第三者評価支援委員会(委託者:北海道、期間:平成18年9月27日から平成19年3月20日)

委員長	佐藤浩一	北海道大学名誉教授 HITEST 理事
委員	大島俊之	北見工業大学理事・副学長 HITEST 理事
委員	岸 徳光	室蘭工業大学教授 HITEST 理事
委員	神田恭太郎	川鉄橋梁鉄構株式会社(日本橋梁建設協会)
委員	三原慎弘	寒地土木研究所主任研究員
オブザーバー	佐伯 昇	第三者社会基盤技術評価支援機構・北海道代表理事、 北海道大学名誉教授

耐候性鋼材橋梁計画マニュアル案(2周年記念セミナー資料参照)を作成した。

(3)自動開閉樋門の開閉検証と技術基準に関する第三者技術評価支援委員会(委託者:北海道、期間平成18年11月15日から平成19年3月20日)

下記の委員会を組織した。

神谷 光彦	(北海道工業大学 地盤工学 HITEST 理事)
佐伯 昇	(北海道大学名誉教授 コンクリート工学 HITEST 代表理事)
杉本 博之	(北海学園大学教授 橋梁工学 HITEST 理事)
長谷川和義	(元北海道大学大学院教授 河川工学 HITEST 専務理事)(委員長)
山下 彰司	((独)土木研究所寒地土木研究所上席研究員 河川環境工学)

美唄新川総合流域防災工事(11号川地区)樋管設計検討業務18年度報告書(2周年記念セミナー資料参照)を作成した。

(4)合意形成システム研究調査部会
別冊のように調査資料が報告された。

5. その他

3 . 委員会、部会について

(1) 美唄新川総合流域防災工事

桶管設計検討業務委託を長谷川和義委員長及び神谷光彦、佐伯昇、杉本博之、山下彰司委員で引き続き受託することの承認について

(2) 合意形成システム研究調査部会を引き続き高野伸栄部会長、岸邦彦、佐伯昇部会員によって行うことの承認について

(3) 技術に関する社会問題に対応できる技術支援部会の検討について